

中国古典舞踊 国際コンクール 途絶えていた技法と伝統的価値観を表現

第10回新唐人「中国古典舞踊国際コンクール」が9月7日～10日、米国ニューヨーク州パーチェス・カレッジのパフォーミング・アーツ・センターで開催された。

今回のコンクールには、これまで最大となる140名の選手が出場した。選手たちは、伝統的な歴史や民話、神話伝説を舞台で表現し、中国古典舞踊の純粋なテクニックを競い合った。そのテクニックには、米国神韻芸術団の芸術監督であるD.F.氏が伝授するまで久しく途絶えていた「身帯手、胯帯腿」（体で手を動かす、股関節で脚を動かす）が含まれている。

予選から本選、決勝を経て最終日の夜8時に選考結果が発表され、金賞12名、銀賞10名、銅賞14名、優秀賞15名の計51名が受賞した。

北京舞踊学院を卒業し、同コンクールの審査員の一人であるベテラン舞踊家の張明慧

氏は、このコンクールが他のコンクールとは異なり、純粋で純正な中国古典舞踊であるとして「中国古典舞踊をうまく踊りたければ、中国の伝統文化を理解し、心で舞うことが重要です。そうして初めて打ち込むことが可能となり、よりよくできるのです」と語った。

米国神韻芸術団の主要パフォーマーの一人であり、今回初めて審査員を務めた李宝圓氏は、ダンサーがうまく踊ったとしても、常に上達の余地はあると語った。ダンスは「心によるもの」となった時に初めて人を感動させることができるという。観客は、選手たちのパフォーマンスを「心の昇華を得た」と絶賛した。

中国の伝統文化は素晴らしいと分かってほしい

シニア女子部門の金メダリストの黄悦さんは、コンクールに参加した目的についてこ

う語った。「自分を向上させると同時に、中国の伝統文化をもっと多くの人に知ってもらいたいと思います」。中国共産党が政権を握る中国本土では、伝統的な中国文明が大きく破壊されており、黄悦さんは「中国の伝統文化はこれほど素晴らしく、全人類にとって大いに有益」と多くの人に分かってほしいと切に願っている。

黄悦さんはまた、中国の伝統文化が世界の普遍的な価値観を表しており、中国古典舞踊を通じて、この素晴らしい文化を世界と分かち合いたいと考えている。これは、このコンクールの趣旨にも合致している。「真に優れた芸術は、単なる娯楽や演出ではなく、人々の善の念を啓発することができます」と黄悦さん。「人々を良い方面に導くことができ、鑑賞後には、本当に良い人、正統な人とはどういう人なのかを考えることができます」



■ジュニア女子部門の金賞受賞者・邵苒慈さんが、コンクール本選で舞踊「春の雨」を披露（大紀元）

選手たちのパフォーマンスはとても美しく感動的

コンクールの決勝を観たソフトウェア開発者のレオ・ワンさんは、選手たちの舞踊技術が高いだけでなく、表現力も豊かで「とても美しく感動的で、興奮も覚えた」と語った。

「私たちはみな、幼い頃から『三国志』などの物語を聞

いて育ちました。伝統的な英雄や傑出した女性……これらの物語は、忠義とは何か、高尚とは何かを表しています。より多くの人に（このコンクールを）見に来てもらい、より多くの人々が伝統的な芸術、伝統的な価値に回帰するようにすべきだと思います。このような伝統的価値を自分の心に刻めば、自らの言動も変わり、社会全体の気風も良くなるでしょう」

名古屋で迫害反対パレード

法輪功学習者（以下、学習者）は9月17日、名古屋市の中心にある栄公園で煉功を行い、市内の繁華街である栄付近でパレードを行った。

学習者たちは人々に法輪功のすばらしさを紹介し、同時に中国共産党（以下、中共）が学習者の臓器を摘出している事実を伝えた。そして、中国当局に対して法輪功への迫害を即座に停止するように要求し、多くの人々の支持を受けた。

パレード当日は最高気温が33度に達し、過去60年間の同じ日で最高記録を更新した。参加者らは午前中、栄公園で煉功を行った後、栄周辺で2時間以上にわたるパレードを行った。

パレード隊は、栄公園を

出発し、三越や松坂屋など大型百貨店が立ち並ぶ大通商店街や大須を通り、人々がよく休憩をしている久屋大通公園の西側の大通りに沿って行進した。多くの市民が学習者の説明を聞いた後「法輪功を支持しています！」と言った。



■名古屋でのパレードで演奏する天国楽団

市民が反迫害活動を支持

野球観戦に来ていた宮原さんは、法輪功が迫害されている真実に関する資料を読んだ後「臓器摘出を即座に停止すべきです」と語った。

名古屋でアルバイトしている隼人さんは「（学習者が）これ

ほどの迫害を受けているのは確かに大変でしょう」と語った。

南口さんと妻の京子さんは食事をするために名古屋にやってきた。京子さんは「引き続きがんばってください」と語った。

名古屋に買い物に来た鶴野さんは「愛知県民は皆、あなたたちを支持しています！」と語った。

外国人観光客が法輪功の反迫害を支持

オーストラリアから来たシーモン・ハーベストンさんは法輪功が迫害されている真実を学習者から聞いて「中国共産党に失望しました」と語った。

自転車に乗っていた若者はニュージーランド出身

で、法輪功に興味を持ち、インターネットで調べてみるつもりだと語った。

学習者が自身の体験を共有

ベトナムから来たホアン・ティ・ヒエンさんは、「友人の紹介で、1年前に法輪功の修煉を始めました。体調が良くなり、心性が向上し、安らぎを感じました」と体験を語った。

ベトナム人のグエン・ティ・トさんは「5年前、私は腎臓病にかかりました。病院の医師からはこの病気は治らないと言われましたが、法輪功の修煉を始めて1か月半ほどで元気になりました。そして、患っていた他の病気も治りました。私は新しい人生を手に入れました」と語った。

パリで千人が煉功 五式の功法紹介

ヨーロッパ30カ国以上から千人の法輪功学習者（以下、学習者）が8月26日午前、フランス・パリのレピュブリック広場に集まり、穏やかな法輪功の五式の功法を人々に披露し、法輪功を紹介した。広場では多くの人々が、その壮観で穏やかな光景に引き付けられた。

中国共産党政府による迫害を理解できない

ドイツ出身のダンクル・ヴェグルさんはシーメンスでソフトウェアエンジニアとして働いている。国連広場を通りかかり、黄色い服を着た人々が煉功をしているのを見て興味を持った。

法輪功は真・善・忍の理念に基づく修煉法だが、中国で迫害を受けていると聞いたヴェグルさんは「中国共産党（中共）政府が、どうして異なる信念を持つ人をこのように扱うことができるのか理解できません」と述べた。そして「頑張ってください！」と励ました。

この功法は本当に良い

フランス人女性シャンタル・ドゥマンさんとミリエル・ル・フランソワさんは、学習者を嬉しそうに眺め「この功法は本当に良いと思います」と語った。さらに「皆さんには『忍』の思想が見られます」と言った。彼女達は、



■レピュブリック広場で法輪功の五式の功法を披露

中共が営利目的で善良な人々から生きたまま臓器摘出していることを知らなかったと言いき、迫害を制止するために学習者を支持すると表明した。

ヌリジンさんはアルジェリアから来た建設労働者である。彼は武道を習ったこ

とがあるが、法輪功のことは知らなかったという。ヌリジンさんは「真、善、忍の理念に従うことは良いことです」と語った。

教師のヒーナンさんは、友人の教師と通りかかり、立ち止まって功法を見ていた。学習者が「法輪功は世

界100カ国以上に広まり、世界中の人々に愛好されていますが、世界中で独裁政権の中国においてのみ迫害されているのです」と説明すると、二人とも迫害に反対する嘆願書に署名した。

ジャバール・アル・タウィルさんは地元の退職者。中国で、法輪功を学ぶ人達が真・善・忍の信念を捨てないという理由だけで、残忍な迫害を受けていると知ったタウィルさんは、「中共政府が国民にこれほど残虐な行為をすることに強く反対します。信仰の自由のために迫害と闘う皆さんの努力を支援するために、私は署名します」と語った。

西オーストラリア フェアでブース出展

西オーストラリアの法輪功学習者（以下、学習者）は8月20日、バラジュラ・コミュニティ・カレッジで開催されたコミュニティ・フェアに参加した。学習者はブースで法輪功の功法を披露し、法輪功を紹介した。

このフェアは、多文化展示、ダンス、音楽、工芸品、屋台などを通じて、地域の家族に喜びをもたらすことを目的としている。

学習者の腰太鼓チームは中国の伝統的な腰太鼓を演奏し、その後に法輪功の五式の動作を紹介し、実演した。観客は静かに見入り、多くの人々が写真やビデオを撮った。

会場では、ブルーのテントと「真・善・忍」の文字

が目立っていた。市民は法輪功についての資料を受け取り、学習者の説明を聞いた。多くの人々が法輪功に興味を持ち、関連情報を聞いた。

法輪功の修煉は純粹

法輪功のブースを訪れたシップーズさんは「幸せな気分になり、エネルギーをたくさん感じます。真・善・忍の原則を実践するとき、エネルギーは世界に広がり、すべてに良い影響を与えます」と語った。

その後、シップーズさんは再び法輪功のブースにきて「明慧の雑誌を読みました。法輪功の修煉は純粹で、無料で学ぶことができ、強制的な義務もないことを知りました。とても嬉しかったです」とコメント

し、法輪功を学ぶ場所などの情報をメモした。

ストレスを解消できる

マリバイさんは法輪功のブースを訪れ「法輪功は心身の健康によく、ストレスを解消できます」と語った。そして法輪功の理念に共感し、コミュニティにおいても重要な役割を果たすことができると述べた。

マリバイさんは西オーストラリア多文化協会の会長で、フィリピン系オーストラリア人のエンパワーメント運動会長でもあった。

法輪功の功法実演で心の平和を感じた

ポーランドから来たイザベラさんは「私たちは心の平和を見つける必要があります。法輪功のブースに来て平和な気持ちになりました」「真・善・忍と法輪功にとても興味があり、もっとたくさん知りたいです」と語った。



■法輪功に興味を持ち、ブースを訪れる人々

ベルギー「平和祭」に参加

ベルギーの法輪功学習者（以下、学習者）は9月2日と3日、聖ニコラスの「平和祭」に参加した。今年は約13万人が参加し、とても賑やかな祭典となった。学習者はブースで法輪功について紹介した。

「真・善・忍」は自身にも周りにも大切

ヴェラさんは法輪功のブースに立ち寄り、学習者が座禅している様子をしばらく見ていた。学習者から、この穏やかさは法輪大法の教えの「真・善・忍」から来るものだと言ったヴェラさんは「『真・善・忍』は、私自身にも周りの人々にも大切」と語った。

ヴェラさんは「このような良い功法が、中国共産党（以下、中共）によって禁止されるとは恐ろしい」と言い、中共が利益のために学習者の臓器を生きたまま摘出していると聞くと目を見開き「なぜ皆は立ち上がって、共産党に反抗しないのですか？」と質問した。学習者は「中国では、すべてが中共の厳重な管理下にあります。中国の学習者は逮捕され迫害される危険がありますが、それでも毅然として迫害を暴き、人々に真実を伝えています」と答えた。ヴェラさんは、学習者のそうした活動に感謝した。

法輪功にとても興味がある

銀行の情報通信技術部門で働くベン・ナイスさんは、仕事で

はITや新しいこと、革新的なことに没頭しており、成果をあげたいと思っている。しかし一方で、仕事や社会の複雑さに完全に振り回されないようなバランスを自分の中に見出す必要があると考えていた。

ナイスさんは娘と一緒にブースにやってくると「昨年、ここを通りかかったとき、法輪功にとても興味を持ちました」と語った。ナイスさんはとても敏感な体質で、いろいろなことに心を乱されることが多く、瞑想で自分を静めたいと思っていたという。

「私が惹かれたのは、学習者が座禅しているとき、とても穏やかだったことです。こんな人混みと騒音の中で、どうしたら穏やかでいられるのか知りたかったのです」と言った。

学習者から説明を受けた後、明慧ネットを調べたナイスさんは、「法輪大法の教えの『真・善・忍』がとても魅力的だと感じました。このような静けさは、本当に人の内面に基づくもので、これから私が注目するところです」と言った。

また、ナイスさんは「『真・善・忍』を学ぶことで、人々はより理解し合い、コミュニケーションできますね。法輪功を学ぶことにとても興味があるので、煉功場に行く前にネットで法輪功についてよく理解し、それから功法を学ぼうと思います」と語った。

私の最も幸せなこと

私は、2004年6月16日に「法輪功・気功講座」を受講し、その後、法輪功を学び始めてから14年以上になります。学んでまず思ったのは、もっと若いときから、もっと早くからこの法輪功に出会っていれば私の人生は、もっと違っていたかもしれないということです。そうすれば、あんな事も、こんな事もやらなかったかもしれない。業力を作ること無かったかもしれない。自分の人生を回顧し懺悔の念でいっぱいでした。

しかし、修煉を続けるうちに道徳の向上と共に身体も健



■谷本さん（ご本人）

康になり、マイナス思考からプラス思考になり、苦しんで泣いていても前進するうちに、いつの間にか乗り越えていました。人間は、どんなに苦しいことがあっても常に前を向いて歩くしかありません。留まっている訳にはいきません。

人間は日に日に歳を取ります。14年以上、法輪功を学んできたとはいえ、振り返ってみるとあっという間で、人生なんて長いようで実に短いのです。ですから一人でも多くの方が、この法輪功の「真・善・忍」の教えを学んで、明るい未来を手に入れて欲しいと思います。

一、私の修煉過程

私は、6歳のときに高いところから落ちて、死を宣告されたそうですが、父親が「全財産売っても良いから、娘を助けてくれ」と医師に頼んだそうです。そこで、看護婦さんの勧めも

あって、運良く注射1本で（注射をうった右腕には後遺症が残り、肉がなく凹んでいる）奇跡的に意識を取り戻し助かったそうです。しかし、その後の私は、人には理解してもらえない程の酷い頭痛で苦しみました。

それから、私は46年の年月を経て、52歳のときに縁あって法輪功を学び始めました。この時期には頭痛のほかに胃の痛み、また人様には言えない苦しみもありました。学び始めてすぐに、法輪功の理を知りたくて、書籍『法輪功』を一生懸命読みました。読み終わったら『轉法輪』を読み「これは本物だ！ 私が探し求めていたものだ」と思い、毎日、毎日読みました。もちろん、煉功も毎日頑張りました。そして、頭痛薬、胃薬、便秘薬は書籍を読んですぐに止めました。すると、しばらくして何十年も苦しんだ頭痛が全くしないことに気が付きま

した。その時の私は、本当に嬉しくて痛みから開放された喜びで一杯でした。今では全く頭痛はしません！

二、私の苦しみの元が押し出された

2006年に東京法会があったとき、私は1番目に発表することになりました。緊張して途中で頭が真っ白になり、何秒間か時間が止まったように感じましたが、なんとか最後まで発表することができました。するとその翌日、それまで痛んだことがない右腕の凹みに突然激痛が走り、あまりの痛みで泣き崩れました。その激痛は2、3週間続き完全に痛みが消えるまでに5カ月間かかりました。「人の身体にこれほどの痛みが有るのかと思いました」が『轉法輪』を読んでいたれば、どんなことがあっても耐えられるものなんだな」と思いました。

押し出していただいた私の業力はまだまだたくさんありますが、あと一つだけ皆さんにお話したいと思います。それは、修煉して10年程が経過

した2014年11月頃、左胸に異常を感じました。かゆみと痛みがあり、しばらくすると、たくさん出来物ができてシャワーを使うときも激痛に耐えなければなりませんでした。

その翌年の2015年には、胸全体に出来物ができて痛みも前年より酷く、2016、2017年と4年間、毎年できました。毎年5カ月間くらい我慢しなければなりませんでしたが、傷一つも残らずに綺麗に治りました。もし、法輪功に出会っていなければ、私は乳がんになっていたかと思います。他にもパニック障害で倒れたりしていた私ですが、今では、心身ともに健康になりました。

痛みは辛いものですが、少しでも我慢して病気の根源を身体の外に押し出せば、健康な身体を得ることができて、本当の幸せが得られるのです。私は自分の人生の中で、何一つ自慢できるものはありませんが、法輪功をここまで学んで来れたことを最も幸せなことだと思っています。

夏休みに心性が向上した体験

私は12歳です。小さい時からお父さんとお母さんと法輪功を修煉しています。今年の夏休み、おじいちゃんとおばあちゃんの家に行き、私の2人の従兄弟（いとこ）も一緒に約1ヵ月間滞在しました。その間に、心性を試されるいろいろな出来事があり、いくつかの体験を紹介します。

プールで心性を試されたこと

私は、お母さんと2人の従兄弟とプールへ行きました。長男は6歳、次男は5歳です。3人で泳いでいたら、とても人が多く、1人の男の子が私の足にぶつかってきました。そして突然、私の足を掴み、引っ掻いてきました。さらに、私と次男に水をかけてきて、「バカ、バカ！」と言ってきたのです。

私はとてもびっくりして、足も痛いし、「向こうからぶつかってきたのに、なんてひどいことをするんだ」と思いました。でも、すぐに「これは試練だ」と思いました。以

前の私だったら、悪口を言い返すか、泣いていたでしょう。今回は、徳をもらっているから言い返してはいけな、前世の借りを返しているかもしれないと気づいたので、何事もなく乗り越えられました。

ショッピングセンターで心性を試されたこと

私は、ショッピングセンターのおもちゃ売場のキッチンで従兄弟と遊んでいました。しばらく遊んでいると、隣の小さなキッチンに、4、5歳くらいの2人の姉妹とお母さんがやってきました。

姉妹は何も料理の材料がないので、半分分けてあげましたが、「まだ全然足りないね」と言っていたので、もう少し分けてあげました。しまいには、私はにんじん1つだけになりましたが、「にんじんがないと、カレー作れないよ」と姉妹が話していました。私は最後のにんじんまで渡してしまうと、遊べなくなるので渡したくありませんでした。

でも、姉妹が困っている様子を見て、渡した方がいかと悩んでいました。

私は今まで試練が来てもなかなか行動できず、後である時こうすれば良かったという悔やんでいたのです。そう思っにんじんを渡そうとしたら、姉妹のお母さんに「小さい子に譲ってくれる？」と先に言われてしまいました。

毎日の学法、煉功

この1ヵ月はほぼ毎日、従兄弟2人と一緒に煉功、学法をしました。2人が先に自分の家に帰ってから、私は1時間の第二式にチャレンジしました。途中で腕が痛くなった時、おばあちゃんに「腕を下ろしてもいいよ」と言われました。

私は今まで自分にはできるわけないと思っていましたが、やってもいけないのに決めつけるのは観念だと気づきました。私は「諦めずに一時間突破してみせるよ」と言いました。

今回の滞在中に私は第二式の1時間をやり抜くぞと思い、

達成できました。終わった時に、固い決心がなかったら途中で諦めていただろうと思いました。

嫌いな食べ物に対する観念を取り除く

私は、エビが大嫌いでした。他にもナスや、カニ、イカなど食べられないものがありました。ずっと、直さないといけないと思いつつも逃げてばかりいました。今回の滞在中に、必ず突破しようと決めました。

私はなぜこんなにエビが嫌いなのかと考えたら、これは自分の観念で、こだわりすぎていることに気づきました。食卓にエビの料理が運ばれて、私はエビのお皿を20分間見続け、しまいには涙が溢れ出てしまいました。「もう明日にしよう」と逃げたい気持ちが出てきました。

でも、「苦勞を先延ばしして、今日逃げたら結局明日も逃げるかもしれない」と思い、もう逃げないと決めました。食べた後、落ち

着いて振り返ると、先程はなぜあんなに怖がって、泣いてしまったのだろうと恥ずかしく思いました。自分で悟って、一歩前に踏み出すことができました。次の日には、ナスとピーマンにも挑戦して、食べることができました。これから少しずつ、観念をなくして、いろいろなものを食べられるようになりたいです。

こうして、従兄弟と3人でまるで修煉合宿をしているような1ヵ月間があったという間に過ぎ、充実した夏休みが終わりました。これからはしっかり修煉を精進していきたいと思っています。



法輪功を学ぶには

法輪功（ファルンゴン）は法輪大法（ファルンダーファ）とも呼ばれ、李洪志先生により伝えられた高いレベルの気功修煉です。法輪功の修煉は、「真・善・忍」を理念とし、真に修煉する人を高い次元へと向上させるとともに、家庭や社会の安定と、人々の健康増進、道徳水準の向上にも、計り知れない効果をもたらします。

一、修煉とは

法輪功は、心性を高める「修」と煉功をする「煉」の2つが含まれます。

1、学法

法輪功の主要な著作『轉法輪』には、修煉に必要な法理がすべて含まれています。『轉法輪』を繰り返し読むことで、深い内包を悟ることができます。

法輪功学習者（以下、学習者）は普段、法輪功の著作を学習することを「学法」と呼んでいます。学法には、注意すべきことが2点あります。

1) 『轉法輪』を読む時、はじめから終わりまで通読すべきで、一部分だけを選んで読んではいけません。途中で中断しても構いません



■6千人の人文字による巨大な地上絵（2009年 台湾）

が、書かれている順序どおりに読むべきです。

2) 学法の時、いかなる求める心もあってはなりません。心を落ち着かせて繰り返し通読してこそ、「求めずとも自ずと得る」ことができるのです。

学習者は、通読中に生じた疑問への解答が、後ろの章で得られることがあると体験しています。また再び通読すること

で、また新たな疑問が生じ、また解答が得られません。

2、煉功

法輪功は煉功（動作）をする必要がある性命双修の功法で、5セットの功法があります。李洪志先生が書かれた『法輪大法大圓滿法』には功法の特長、写真と動作の説明、付録が含まれます。

二、学ぶには

入門書の『法輪功』または『轉法輪』を通読するか、「9日間のビデオ学習講座」に参加して、李洪志先生の説法の録画を順序どおり見ます。

『轉法輪』は「論語」と九講の説法から構成され、説法の録画・録音も同じく九講です。

世界中の学習者たちがボランティアで教える煉功場（気功教室）があります。最寄りの煉功場を

探し、「9日間のセミナー」が開かれていれば九講の説法を全て聞き、5セットの功法を学ぶことができます。

煉功場では皆で煉功し、正しい動作を学び、学習者が間違いを直してくれるため、効果が高まります。続けて参加することで惰性を克服しやすくなります。

周りに煉功場がない方は、李洪志先生が功法を教えている録画ビデオを見ながら独学することができます。毎日煉功する時、法輪功の煉功音楽に合わせて煉功しましょう。

また、インターネットで、オンラインレッスンを無料で受講することもできます。煉功の動作を学ぶだけでなく、書籍と一緒に読むグループもあります。

初めての方へ：

法輪功の活動はすべて学習者たちがボランティアで無料で行っています。ビデオ学習講座、功法レッスン、修煉体験交流会など、修煉の純正さを保つために、料金を取る行為を絶対に禁じています。もし有料のものがあれば、それは決して法輪功が開催したものではありません。

5セットの煉功動作



①佛展千手法

②法輪椿法

③貫通兩極法

④法輪周天法

⑤神通加持法



『法輪功』（ファールンゴン）

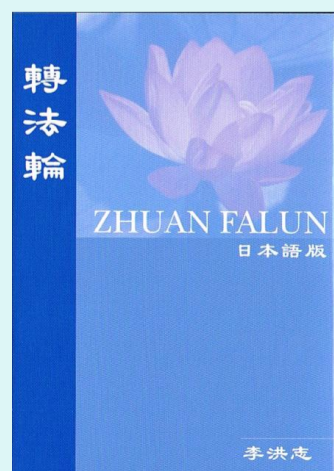
1993年に中国で発売され反響を呼んだ話題の一冊。心身ともに健康になる中国伝統の気功修煉法「法輪功」の入門書。



無料で読む



書籍を購入



『轉法輪』（ジュワンファールン）

1996年に中国北京でベストセラーとなった。「真・善・忍」を理念とする法輪功の修煉を、体系的に指導する最も主要な書籍。



無料で読む



書籍を購入

2023年8月、法輪功学習者66人の不当判決が判明

明慧ネットが報道した情報の統計（注1）によると、2023年8月、少なくとも66人の中国国内の法輪功学習者（以下、学習者）が不当な判決を受けたことが判明した。不当判決は中国の19の省、自治区、直轄市に分布しており、中には60歳以上の年配学習者31人が含まれ、最高齢者は86歳である。地区別では山東省10人で、黒龍江省9人、遼寧省7人、甘肅省と河北省5人、広東省、吉林省、四川省4人、北京市3人と続く。中国共産党（以下、中共）の裁判所は、総額30万4000元の罰金を強要した。

なお2023年1月から8月までに、中国国内で計839人の学習者が不当な判決を宣告されたことが判明している。

（注1）情報収集期間は2023年8月1日から2023年8月31日まで

20年間拘禁された李文明さん さらに懲役5年の不当判決

甘肅省蘭州市の学習者・李文明さん（59）は、20年前の電波ジャック（注2）に参加し、法輪功に関する映像をテレビで放送したとして、裁判所から懲役20年の実刑判決を言い渡された。そして2021年8月の釈放からわずか1年後、李さんは再び連行され、さらに懲役5年の実刑判決を不当に言い渡された。現在、李さんは判決を不服として控訴している。

2022年の中共「20回大会」を前に、蘭州市の司法部門は100日間の「取締キャンペーン」を開始し、連行目標人数を達成するために蘭州市で多くの学習者を不当に連行した。借家にいた李さんも2022年8月23日、七里河区国内安全保衛部門（法輪功迫害の実行機関）と西駅派出所の警官

十数人に不当に連行され、紅古区留置場に拘禁され、その後、蘭州西果園留置場に移送された。そして2023年2月末、李さんは蘭州市城関区検察庁に起訴された。最近になって城関区裁判所は李さんの裁判を開き、懲役5年と罰金3万元の不当な判決を下していた。

（注2）中共は、中国国内のメディアを完全に統制し、虚偽の情報を広め、法輪功に対する国民の憎悪を扇動し、法輪功を根絶するための暴力的な活動を強化した。迫害をやめるよう政府に平和的に請願した無数の人々が逮捕され、拷問を受けた。すべての合法的な請願方法が遮断された環境で、2002年春、学習者のグループが中共による法輪功への迫害に関する真実を伝える番組を8つのテレビチャンネルで約50分間放送し、100万人以上の視聴者に配信した。

重慶市の劉桂碧さん 不当に懲役1年の実刑判決

重慶市の学習者・劉桂碧さん（81歳女性）は、8月25日に不当な裁判にかけられ、懲役1年と3000元の罰金を言い渡された。

2023年7月4日午前10時、北碚区裁判所第二法廷で劉さんの裁判が開かれたが誰も傍聴できず、劉さんの夫さえも立ち入ることを許されなかった。壇上には5人しかおらず、劉さんは自己弁護をしている最中、5人全員が席を立ったので、法廷には劉さん1人しかいなかった。しばらくして裁判所は、法廷が終わったことを告げ、劉さんを家まで送った。その後、懲役6カ月の判決文が届いた。

8月23日、裁判所の関係者は劉さんの家にやってきて「前回の判決は有効でないから、もう一度裁判を行う」と

言った。8月25日の朝、裁判所の関係者は劉さんを裁判所に連れて行き、わずか5分ほどで裁判を終了させた。劉さんは、懲役1年の実刑判決と罰金3000元を言い渡された。

劉さんは、今年2月16日に北碚区で法輪功迫害の事実を人々に伝えていた時、当局による法輪功を中傷する偽りの宣伝を信じた人に通報され、静観鎮派出所の警官により連行されていた。

黒竜江省の白洪友さんと朱得山さんに高額な罰金

明慧ネット今年8月28日の報道によると、依蘭県の学習者・白洪友さんと朱得山さんは6月7日、依蘭県裁判所に不当な判決を宣告された。白さんは懲役6年3カ月と罰金10万元、朱さんは懲役2年10カ月と罰金5万元を言い渡された。2人とも控訴している。

7年6カ月の冤罪、継続的な嫌がらせを受けた胡火妹さん死亡

江西省南昌市の法輪功学習者・胡火妹さんは、中国共産党（以下、中共）による法輪功への迫害で不当に労働教養を強いられ、二度の実刑判決を言い渡された。刑務所から解放され帰宅した後も警官や地域の役人から絶え間ない嫌がらせを受け、極度の貧困状態に陥った。そして2023年8月3日午後、胡さんは亡くなった。50歳の若さであった。

胡さんは、1999年2月に家族の紹介で法輪功を学び始めた。その後、崩壊寸前の家庭が救われ、遺伝的な重度の高血圧症も回復した。

1999年7月、中共が法輪功迫害を開始した後、胡さんは5回連行され、3回家宅搜索され、洗脳班に1回監禁さ

れたほか、さらに2回の労働教養と2回の不当な判決を言い渡され、5000元の罰金を科された。胡さんは計7年6カ月間、不当に拘禁された。当時、幼い息子と娘は親戚の家に預けていた。

胡火妹さんが生前に述べた迫害の事実

「2000年9月、私は法輪功の無実を訴えるために北京へ陳情に行きました。北京の陳情部門の入り口で尋ねると、すぐにパトカーに乗せられ、名前と住所を言わせられた後、北京の江西省事務所に送られました。そして、私は南昌市の第二留置場に15日間拘束されました。釈放された後も、朝陽派出所の警官らは頻りに家にやって来て、嫌がらせを働き、家族に私を監視させ、再び北京で陳情しないよう家族を脅迫しました」

「2001年1月、再び北京へ陳情に行った私は、天安門広場で連行され、河北省保定市の派出所に拘束されました。私は名前と住所を言わなかったため、顔を平手

打ちされ、腕に電気棒で電気ショックを与えられました。マイナス8度の寒い冬の夜、警官は下着だけの私を3～4時間ほど、外の物干し台に吊るした後、北風が吹きさらす駐車場に翌朝まで手錠をかけました。その後、北京の朝陽区で拘禁された寒い冬、警官は私の襟元に冷水を注ぎ、私の服は冷たく硬い氷で覆われ、まるで氷の穴に落ちたかのように骨の髄まで冷え切っていたのです」

「地元の南昌市に戻された後、私は直接南昌第二留置場に入れられ、それから3年間の労働教養を強いられました。労働教養所で私は独房に監禁され、麻薬中毒者に24時間監視され、法輪功を中傷するビデオを長時間見せられました」

「2008年5月、清掃員として働いた私は岱山派出所の警官に連行されました。激しい殴打により、高血圧症を患いました。同時に、警官は家宅搜索を行い、法輪功の書籍および他の私有物を押収しました。その後、

私は南昌第一留置場に1カ月間拘禁された後、1年の労働教養を科され江西省女子労働教養所に送られました。そこでは、私は狭い部屋に閉じ込められ、洗脳による迫害や、長時間の強制労働などの非人道的な迫害を受けました」

「2011年9月、私は南昌県留置場に拘禁されました。留置場では24時間、手足に繋がれる手錠をかけられ、断食で抗議するとようやく外してくれました。数日後、警官らは私の家に行き、パソコン、プリンター、法輪功の書籍など私有物を押収しました」

「2012年4月23日、南昌県裁判所で不当な裁判が行われ、私は懲役4年6カ月の実刑判決を言い渡され、省の女子刑務所に拘禁されました。刑務所に入った後、すぐに法輪功を中傷する資料を読むことや、法輪功を中傷するビデオを見ることを強要され、また、毎日十数時間の強制労働をさせられました」

近年の胡火妹さんへの迫害と嫌がらせ

2018年4月10日午後4時頃、胡さんが友人の家で法輪功の勉強会に参加している最中、青山湖区公安局の警官らにより連行された。その後、西湖



区裁判所は秘密裏に胡さんに懲役1年6カ月の実刑判決を下し、罰金5000元を科した。

2019年10月、胡さんは拘禁期間が終了し、自宅に戻ったが、警官や地域の役人らによる嫌がらせを受け続け、何度も無理やり写真を撮られた。

胡さんの家族は多額の借金を抱え、極度の貧困状態だった。胡さんは重圧の中で、次第に体調が崩れ、目がかすみ、体重が減り、頻りに転倒するようになった。亡くなる前のしばらくの間、寝たきりになっていた。

今年7月21日、胡さんは危篤状態になったため、南昌市工農病院でICU集中治療室で治療を受けた。しかし、胡さんは医療保障もないため、高額な治療費を支払うことができず、14日後、自宅に帰らなければならなかった。自宅に帰って5分後、胡さんは亡くなった。

■ 胡火妹さん



数カ国が相次いで立法 中共による生体臓器摘出を制止

2006年初め、瀋陽病院のスタッフであるアニーさんは、中国共産党（以下、中共）による法輪功学習者の生体臓器摘出の内幕を初めて暴露した。彼女の元夫は、2000人の生きた法輪功学習者から角膜を摘出していた。

同年、カナダの弁護士・デービッド・マクス氏は調査報告書で「法輪功学習者が臓器狩りのために殺害された」と結論づけ、『中国臓器狩り』という書籍も出版した。

臓器狩り被害者の証言

法輪功迫害追跡調査国際組織（追査国際）は2023年7月18日、臓器狩り被害者の唯一の証言を発表した。証言したのはハルビン市の法輪功学習者・張秀琴さん（46歳女性）。張さんは繰り返し迫害され、2019年4月28日に病院で生きたまま臓器を摘出されたが、亡くなる前に一時的に意識を取り戻し、医師の服をつかんで助けを求めた。その医師は、当時をこう振り返っている。

「私は驚いた。臓器を摘出されて手術台に横たわる人が、まだ生きていたのだ。彼女は、腎臓を一つ摘出されていた。身体には多くの傷があり、明らかに酷く拷問されて

いた。内臓の損傷は深刻で、使える臓器はほとんどなかったようだ。手術の傷も縫合されていなかった。彼女は『助けて』とだけ言うと、再び昏睡状態に陥った」

再び目を覚ました張さんは医師に、自分の受けた不当な仕打ちを正し、悪を暴くために力を貸してほしいと願った。張さんの証言を録画したビデオの内容は、追査国際の報告書として掲載された。張さんのメッセージはこう始まる。

「あなたがこの映像を見る頃、私はもう生きていないでしょう。私は法輪功の学習者で、中共に迫害され、生きたまま臓器を摘出されて死ぬのです。私は今朝ここに連行され、片方の腎臓を強制摘出されました。ご覧の通り、私はまだ生きています。これこそ、悪の党が決して認めなかった生体臓器狩りです。私と一緒に拘束されていた数十人は、次々と連行されて行方が分かりません。生きたまま臓器を収奪された法輪功学習者は、数え切れません。このような邪悪な犯罪を、一刻も早く暴きましょう！ 罪もない人々が信仰のために虐待され、虐殺されることがなくな

りますように！ 私の死が、世界の人々の良心を目覚めさせることを願っています！」

スペインが率先して臓器移植法を改正

2008年、スペイン人のオスカー・ガレイ氏は、中国で違法な肝臓移植を受けた。2010年、中国での経験を公表し、スペインのメディアと政府の注目を集めることになった。

『スペイン臓器移植法』は2010年に改正され、違法な臓器移植手術を受けた者は起訴に直面することになった。この改正で、三つの方面から臓器移植取引について具体的に規定した。

一、違法な移植と臓器窃盗に関与した者は、3年～12年の禁固刑に処される。

二、移植臓器を取得しその臓器の出所が違法と知っていた個人は、起訴され刑に処される。

三、違法な臓器移植と取引に関与した組織（協会、会社、病院など）は、処罰される。

米下院、中共による生体臓器摘出を罰する法案を可決



緊急議案を採択した欧州評議会

2023年3月27日、米下院は『2023年強制臓器摘出停止法』を413対2票の賛成多数で可決した。生体臓器狩り阻止のため米国が立法した初めてのケースであり、圧倒的な賛成多数で可決された。

同法は、生体臓器売買に関与した者に制裁を科し、国務省に犯罪者のパスポートを剥奪する権限を与えている。生体臓器摘出に関与した者への懲罰として、最高100万ドルと20年の懲役が定められている。

法案発起人の下院議員クリス・スミス氏は「中共の指導の下、毎年6万～10万の若い被害者が冷酷に殺されている。生体臓器摘出は人道に対する罪であり、私たちは行動を起こさなければならない」と語った。

欧州評議会、『人体臓器売買禁止条約』を採択

2013年、欧州議会は中共に対し生体臓器摘出を直ちに停止することと、良心の囚人を直ちに釈放することを求め、中共政権が人道に対する罪を犯したとはっきりと非難した。

欧州評議会は2014年に『人体臓器売買禁止条約』を採択し、国境を越えた違法な臓器取引を抑制した。

イギリス、生体臓器摘出を阻止する改正法施行

2022年4月、イギリスの『健康・介護法』は他の国に渡航し臓器を購入して移植することを禁止した。この改正法は国内での臓器売買を違法とする既存の法律に域外条項を加えたものである。

日本の議員、法輪功学習者・丁元徳さんの即時釈放と迫害停止を要求

日本の法輪功学習者（以下、学習者）と地方議員は9月5日、残暑の中、東京の六本木にある中国大使館前に集まり、今年5月に中国共産党当局（以下、中共）に不当に逮捕された学習者・丁元徳さんの釈放を要求した。そして、中共に対して法輪功への迫害を停止するよう警告した。

SMGネットワーク（臓器移植を考える全国地方議員の会）世話人代表び丸山治章氏、茅崎市議会議員の水島誠司氏、前綾瀬市議会議員の笠間のぼる氏、そしてSMGネットワーク事務局長が順番に忠告書を読み上げた。

多くの学習者が交代で大使館前で横断幕を掲げ、学習者

である丁元徳さんと馬瑞梅さん（ドイツ在住の学習者・丁楽斌さんの両親）への迫害を即時に停止するよう呼びかけた。丸山議員は学習者たちの前で挨拶し、支持と励ましを表した。

中国の学習者と一体となり（反迫害）活動に参加したい

中国で起きているジェノサイドを制止するための活動をしている茅ヶ崎市議会議員の水島誠司氏は、「とても信じられない状況が中国で起きています。私たちも発信をして、世界全体で人権侵害行為を制止させるようにすることが必要です。私は中国の学習者と一体となり

（反迫害）活動に参加したいと思います」と語った。

中共による学習者からの生体臓器収奪を制止するために活動をしている前綾瀬市議会議員の笠間のぼる氏は、「（中共が）年齢や性別にかかわらず、学習者を不当に拘束していることは言語道断です。ましてや高齢の学習者を拘束することは本当に許しがたい。学習者に対する、中共による不当な連行と拘留、そして臓器収奪をやめていただきたい」と語った。

学習者のために強く声を上げる

丸山治章氏は、高齢の学習者が不当に拘禁されてい

る事実が全く表に出ていないと語った。そして、「学習者たちは20年以上にわたる残酷な迫害を受けてきましたが、その事実は広く知られていません。信じられないほど多くの学習者が不当に拘禁され、人権を踏みにじられています。私は彼ら（学習者）のために強く声を上げます」と語った。

丸山氏はさらに「（中共による学習者からの臓器収奪は）人間のすることではなく、獣の所業です。ドイツの学習者が両親を救出するために奔走している話を聞いて、親を思う心に感銘を受け、私も自分の力を尽くしたいと思います」と語った。

忠告書を読み上げる丸山議員ら



役人はよく修行できる

昔から、「役人はよく修行できる」と言われます。政府機関に勤める者は、善意を持ち、社会のため、国民の利益のために権力を適切に行使すれば、他の職業に就く者よりも善行を積む可能性が高いということです。同時に、権力を握る者は様々な困難や誘惑に直面することを余儀なくされますが、道徳心を研ぎ澄まし、善良な考えを持ち続けることができれば、身をもって教えていくことによって、社会全体の善行の模範にもなるでしょう。

政府の法執行官は「善良な民の権益を守り、他人を利する機会が多いため、徳を積んで子孫を繁栄させることができる」（袁氏世範（※））という言い伝えがあり、東漢の郭躬（かくきゅう、生年不詳 - 94年）は、その典型的な例です。

（※）『袁氏世範』は南宋時代の著作で、宋代の家庭倫理や社会強化の思想を豊富に反映している。

権威をもって法を代替しない

郭躬は、法律を学びました。明の永平の時代、奉車都尉（ほしゃとい）であった竇固（とうこ）は匈奴を征服し、騎都尉（きとい）の秦彭を副官と決めました。秦彭が自分の駐屯地で罪人を軍法で処刑すると、竇固は秦彭の独断専行を処罰し、朝廷に死刑を求めました。郭躬は「法律上、秦彭には処刑を執行する権限があります」と反対しました。法律に対する郭躬の明確な理解は、権力者が権力を法に代えることを防ぎ、秦彭の命を救いました。

天の道は正直、疑うことで断罪しない

二人の兄弟による共同殺人事件がありましたが、しばらくはどちらが主犯か判断がつきませんでした。明帝は、弟をよく教えられなかった兄に主な責任があると考え、兄の厳罰を認め、弟の死刑を免除しました。その後、中常侍（ちゅうじょうじ：皇帝の身

の回りの事を司る侍中府の中の一役職）の孫章が詔書を読み上げる時、二人とも死刑に処すると言いました。これを知った大臣は「詔命（しょうめい）を偽った」として孫章を弾劾し、処刑を要求しました。

孫章は、自分は間違いを犯したのであり、そんなつもりはなかったと主張しました。郭躬は「天の道は正直であり、君主は証拠もなく他人の欺瞞を疑うべきではない。君主は天の道に従うべきであり、疑って有罪にするべきではない」と答えました。明帝は彼の考えに同意しました。郭躬は「疑わしきは罰せず」という法の原則を守り、孫章の命を救いました。

※侍中は、皇帝の側近で皇帝の質問に備え、身边に侍する役職

寛大で公正である刑務所の管理で子孫に恩恵をもたらす

章和元年、章帝（しょうてい）は4月丙子（ひのえね）

の日以前に投獄されたすべての囚人に恩赦を与えましたが、逃亡中の囚人には適用されませんでした。郭躬は皇帝に、「恩赦の後に逮捕された者には同じように鞭刑を加えず、すべて金城に送って辺境を守るべきです。人命を守り、同時に辺境防衛のためになるでしょう」と提案し、皇帝は彼の意見に同意し、多くの人の命が救われました。

郭躬は寛容と公平を重んじ、41種の重刑を軽刑に変更するように提案し、皇帝に承認されました。郭躬の官職は廷尉（ていゐ）正であり、その子孫には様々な高官の地位に至った人がたくさんいたといわれています。

結び

「役人はよく修行できる」、特に検察官や法執行官の場合はそうです。例えば、中国共産党が数百万人の法輪功学習者を迫害して以来、ますます多くの良心と善意を持つ公務員が真相を理解し、無実の法輪功学習者が犠牲者にならないよう正義を尽くしています。陰で徳行をおこなう者は、必ずよい報いがあら



われます。

逆に悪意があり、私利私欲のために権力を乱用する役人らは、他の職業よりも悪業を蓄積する可能性が高いのです。

中国の検察官や裁判官の中には、法律を踏みにじり、不当な冤罪事件を作り出し、善良な法輪功学習者を迫害する者が未だに存在します。天の道において、歴史は常に何度も繰り返されます。政府機関に勤める人々、特に法執行官は、自分自身の考えと心に注意する必要がある、善良な考えを持てば、必ず福が伴います。

質素儉約における人格と美德



現代のメディアはよく、有名人がどのブランドのスポーツカーに乗り、どれだけ豪華な邸宅を所有し、どれだけ派手な結婚式を挙げるかと報道しています。それとは逆に中国の歴史では、どの王朝でも儉約を唱えています。古代は現代に比べて物資が不足していたため、質素を推進せざるを得なかったからでしょうか？ 以下では、古代の人々の質素と儉約に対する考え方と、質素と儉約がもたらす結果を探ってみました。

徳のある人は質素儉約から生まれる

『春秋左氏伝』には「儉約は美德の共通であり、浪費は最大の悪である」とあり、中国北宋時代の儒学者である司馬光（しばこう）は「品性と徳のある人は、質素儉約から生まれる。欲望が少ない君子は、外的なものに振り回されず、誠実さと道徳を守ることができる」と説明しています。したがって、質素儉約は道徳の共通基盤です。逆に贅沢をすれば欲望が多くなり、不幸を招きます。贅沢はすべての罪の中で最大の罪であると言われていています。

贅沢な家は必ず没落する

『国書』によると、周の定王8年、王は劉康公を使節として魯国に訪問させ、魯国の重臣たちに贈り物を配りました。劉康公は、魯国の季文子と孟献子が質素であるのに対し、叔孫宣子と東門子は贅沢であると分かりました。

劉康公が国に戻ると、周の定王は魯の大官でどちらが徳が高いかと尋ねました。劉康公は「季文子と孟献子は魯そ

の地位を保つことができます。叔孫宣子、東門子は敗亡するかもしれません」と答えました。定王がなぜかと尋ねると、劉康公は「季文子と孟献子の儉約が彼らの家族を庇護しています。叔孫宣子や東門子は贅沢をし、贅沢をする」と貧しい人に同情や思いやりがなくなり、犯罪が増え、最後には国家の余裕がなくなり、敗北に至るでしょう」と答えました。

定王は、「それでは、叔孫宣子と東門子の一族はいつまでもつのか？」と聞きました。劉康公は「東門子の地位は叔孫宣子に劣りますが、贅沢なので、二代続けて俸禄を享受することは不可能です。叔孫宣子の地位は季文子や孟献子に劣りますが、彼らよりも贅沢なので、三代続けて俸禄を享受することは不可能です」と答えました。

やがて東門子は後ろ盾を失い、政敵に追放され、齊に逃れました。叔孫宣子が悪行を重ね、魯の重臣たちは彼を追放しようとしたため、叔孫宣

子は齊に逃亡しました。贅沢な一族は必ず滅びるという劉康公の予言は的中し、東門子は一朝の禄、叔孫宣子は二朝の禄を受けました。

質素儉約で国を治めれば、親族に優しさがもたらされ、訴訟もなくなる

漢の平皇帝の時代、皇太后は「人民を富ませる鍵は儉約にある。国が栄えれば、王にとって儉約ほど重要な徳はない。国民に儉約の徳を教えられれば秩序が形成され、親族に優しさがもたらされ、争いや訴訟の根本的な原因がなくなる」という詔書を発しました。儉約が民を豊かにし、刑罰なしに国を治める根本とあり、それをみずから実践したのは、平津侯公孫弘です。彼は宰相でありながら、受け取った俸給はすべて徳のある人や客人をもてなすために使いました。

質素儉約で国を治めていれば、国民も役人も慎み、金銭を上手に使い、人を助ける余裕もあるので、調和と配慮が生まれ、争いも少なくなり、社会が安定するのです。

結論

儉約は貧しさやケチとは結びつきません。儉約の美德を持っている人、儉約の習慣を持つ人の多くは、人生を楽しみ、自然に感謝し、他人を助けることを知っています。すべての美德には、他人のためであること、利己的でないことという意味合いが含まれているからです。

儉約する人は快樂に執着せず、欲望がなく、道徳的な人格を養うことができます。贅沢な人は、欲望に取りつかれ、お金を得るために不適切な手段を使うことさえあり、最終的には災いを招きます。

1989年以降の中国社会では、中国共産党の指導者が中国人の伝統的な道徳を完全に破壊し、贅沢、墮落、乱倫をしたため、その結果、多くの人が名声や富を求め、物質的な享楽ばかりを気にするようになり、物欲、貪欲と災いを招く危険な境地に陥っています。

したがって、徳は個人の修養に必要なだけでなく、社会と国家の礎石でもあります。

写真特集



- ① 8月13日、インドネシアのバリ島デンパサールのレノン広場で煉功
- ② 米メリーランド州選出のデビッド・トロン米下院議員が、パレードの合い間に法輪功学習者と写真撮影
- ③ オーストラリアの女性ヴィーさんは、真・善・忍に従うことは全ての人のためになると信じていると語った
- ④ 8月26日、パリ13区のパレードで龍の舞を披露
- ⑤ ドイツ・ミュンヘンのフェスティバルで、学習者を声援して署名をするIT技術者のホルガーさん
- ⑥ 8月12日、スイスのサント・ガレン市中心のマルクト広場で功法を実演
- ⑦ 7月29日、トルコ国営テレビで法輪功学習者（左）が中共による迫害の状況と法輪功について紹介した



明慧ネットとは

明慧ネットは、1999年6月21日に中国語ウェブサイトを立て、2001年7月に日本語版を開発しました。

法輪功について紹介すると同時に、世界各国の活動や、学習者が法輪功を学んだ体験談を掲載しています。

また、世界中（特に中国本土）で独自の情報伝達システムを構築し、危険な状況の中、現地から直接入手した情報を毎日大量に発信し、中国共産党の法輪功への迫害事実を報告しています。

明慧ネット日本語版 <https://jp.minghui.org/>